

安全データシート (SDS)

【製品名】 チヨダカラーフレキ

1. 製品及び会社情報

【製品情報】

製品名：チヨダカラーフレキ

一般名：化粧繊維強化セメント板（フレキシブル板 A）

概要：フレキシブル板 A の表面にアクリルウレタン樹脂塗装を行ったもの

【製造者情報】

会社名：寿工業株式会社

所在地：栃木県下都賀郡野木町野木 144

担当部門：品質管理部

電話番号：0280-55-2311

F A X：0280-55-2314

緊急連絡先：同上

【販売者情報】

会社名：チヨダセラ株式会社

連絡先：0463-93-8880

会社名：チヨダウテ株式会社

連絡先：03-6635-1650

2. 危険有害性の要約

G H S 分類：混合物としての評価^(注)

物理化学的危険性 爆発物

区分に該当しない

	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2

	眼に対する重篤な損傷性／刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1 A
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1 (呼吸器系・免疫系・腎臓)
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

注) GHS 分類のための情報、知見が入手不可である成分は評価に含まない又は分類できないとした

G H S ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：皮膚刺激

重篤な眼の損傷

切断加工などで生じる粉じん吸入により遺伝性疾患のおそれの疑い

切断加工などで生じる粉じん吸入により発がんのおそれ
切断加工など生じる粉じんの長期または反復ばく露による臓器(呼吸器・免疫系、腎臓)の障害のおそれ
(なお、切断加工などを行わず、据付け・組込み作業のみを行う場合には粉じん発生はありません)

注意書き：

【安全対策】使用前に取扱い説明書（取説が無い場合：安全データシート等）を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護めがねを着用すること。

必要に応じて呼吸用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

粉じんを吸入しないこと。

取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと

【応急措置】皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用し

ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着し、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師に連絡すること。

【保管】 水濡れしないようにすること。

【廃棄】 都道府県知事又は市長の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託をすること。

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物 : 混合物

化学名 :

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	含有量(%)	安衛法 ¹⁾ 通知 対象物	PRTR 法 ²⁾	
					第一種	第二種
けい酸カルシウム	1344-95-2	1-194		非該当	非該当	非該当
結晶質シリカ (石英)	14808-60-7	1-548	25	165-2	非該当	非該当
水酸化カルシウム	1305-62-0	1-181		317	非該当	非該当
有機繊維	—	対象外		非該当	非該当	非該当

1) 労働安全衛生法

2) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

注) 主成分及び上記法律 1)2)の対象物質、その他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚についた場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚に付着し、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せ

る場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

誤飲した場合：口をすすぐこと。

気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

基材は不燃であるが、火災時には表面の合成樹脂被膜は燃焼するため、ガスや煙を吸引しないよう注意する。

6. 漏出時の措置

・人体に対する注意事項

本製品が壊れ、床面などに粉じんがこぼれた場合は、呼吸用防護服を着用し、速やかに粉じんが飛散しないように清掃する。

・環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

・封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を掃き集めて空容器や袋等に詰めて廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い上の注意]

使用前にこの安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

切断加工等を行う場合は、粉じんが発生するおそれがあるので、次の点に注意すること。

- ・呼吸用保護具を着用すること。
- ・電動工具を使用する場合は、局所排気装置・集じん装置を設置すること。
- ・作業衣等に付着した場合は粉じんの飛散に留意して取り除くこと。
- ・取扱い後は、うがい及び手洗いを励行すること。

また、使用済みの本品を取り換える際に、粉じんが発生するおそれがあるので、作業時には湿潤化を推奨する。

【保管上の注意】

安全上問題はないが、品質上水濡れ厳禁とし、常温常湿の屋内保管とする。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：質量濃度（吸入性粉じん）... $3.0/(1.19 \times Q + 1)$ mg/m³

（Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率％）

許容濃度：日本産業衛生学会(2022)許容濃度の勧告値：

第2種粉じん（結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉じん）

吸入性粉じん・・・1 mg/m³，総粉じん・・・4 mg/m³

吸入性結晶質シリカ（遊離けい酸）・・・0.03 mg/m³

ACGIH（米国産業衛生専門家会議）による許容濃度（2019）：

結晶質シリカ（遊離けい酸）・・・0.025 mg/m³

設備対策：室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

保護具：

- ・呼吸用保護具

切断などの作業をする場合は、作業に適した呼吸用保護具を着用する。

なお、防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもよいが、必ず国家検定合格品を使

用すること。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行うこと。

・保護めがね

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど作業に適した保護具を使用する。

・手袋・作業衣

手袋、長袖の作業衣など作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 固体、板状
色	： 表面（各塗装色により異なる）、裏面（白～グレー）
かさ密度	： 1.5～1.8g/cm ³
引火点	： 非引火性
自然発火点	： なし

10. 安定性及び反応性

通常の保管および取扱いの条件においては、安定である。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	区分に該当しない

製品名：チヨダカラーフレキ
[SDS No:CERA-07]

皮膚腐食性／刺激性	水酸化カルシウムを1%以上含有することから区分2とした
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	水酸化カルシウムを1%以上含有することから区分1とした
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	「結晶質シリカ(石英) G H S 分類区分2」を1.0%以上含有し、 切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分2とした発がん性 「結晶質シリカ(石英) G H S 分類区分1 A」を0.1%以上含有し、 切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1 A とした
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	水酸化カルシウム1%以上含有することから区分1とした
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	「結晶質シリカ(石英) G H S 分類区分1」10%以上含有し、 切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1とした
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

[その他成分の情報]

・結晶質シリカの情報

急性毒性：なし

発がん性：IARC発がん性グループ1（ヒトに対して発がん性がある。）

慢性毒性：長期間、多量に結晶質シリカを吸入したとき、じん肺などを起こすおそれがある。

その他：短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすおそれがある

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合は、周辺環境中に粉じんが飛散しないように注意する。

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物となり、“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”に基づき適切な処理を行う。

14. 輸送上の注意

輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意する。

国連分類：該当なし

国連番号：該当なし

15. 適用法令

労働安全衛生法第 57 条、57 条の 2	通知対象物 ^{注1)} 結晶質シリカ、水酸化カルシウム
労働安全衛生法第 57 条の 3	適用対象物 ^{注2)} 結晶質シリカ、水酸化カルシウム
労働安全衛生規則第 577 条の 2	適用対象物 結晶質シリカ(がん原生物質)
粉じん障害防止規則	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業 (粉じん則別表 1 の 6 号)
じん肺法	鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上げする場所における作業 (じん肺法施行規則別表 6 号)
毒物及び劇物取締法	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)	適用なし

注 1) 本製品は労働安全衛生法 表示対象物 結晶質シリカ(石英)を含有するが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、本製品はこれに該当する。

注 2) 危険性又は有害正等の調査 (リスクアセスメント) を実施すべき適用対象物

16. その他の情報

本製品はシックハウス症候群に起因する物質は使用していません。（ホルムアルデヒド、エチルベンゼン、トルエン、キシレン、スチレン）

[参考文献]

- 1) 労働省告示第79号：作業環境評価基準（平成27年9月30日改訂）
- 2) 許容濃度等の勧告(2022年度)日本産業衛生学会(2022.5.25)：産衛誌64巻,2022
- 3) 発がん性物質の分類とその基準(第7版)：(社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 4) 化学物質総合情報提供システム：独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
- 5) JIS Z 7253：2019（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
- 6) ACGIH（米国産業衛生専門会議）Table of exposure limits for chemical and biological substances（2019）

(12/12)

製品名：チヨダカラーフレキ
[SDS No:CERA-07]

作成日：2010/10/01
改訂日：2023/6/

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。